

サワラン

Eleorchis japonica (A.Gray) F.Mack.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の一部の湿原に生育しており、その地域での環境の悪化がすすみ、個体数が減少している。

分 布

国内では北海道～本州（近畿地方以北）に分布。県内では嶺北の一部の湿地、嶺南の一部の湿地に分布している。

種の特徴

山地の湿地に生える。茎の高さ 20～30 cm。茎の基部に球形の偽茎がある。葉は直立し、長さ 10～15 cm、先は尖る。茎頂に紅紫色の 1～3 花をつける。唇弁は 3 裂、中裂片には縦の隆起線がある。

生育を脅かす要因

環境悪化。自然遷移等による園芸採取等。

参考文献 福井県植物研究会（1997）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○					○				○	○	

ツリシュスラン

Goodyera pendula Maxim.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では産地に限られており、個体数は極めて少ない。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は大野市。本県のものはヒロハツリシュスランと呼ばれている型と考えられる。

種の特徴

冷温帯の湿った林内の樹上や岩上に着生する。茎は下垂して伸び、長さ 10～20 cm ほどになる。葉は広披針形、長さ 2～3.5 cm、先は尖り、基部はくさび形。花茎は湾曲して立ち上がり、花序には縮毛があり、白花は長さおよそ 5 mm ほどで一方に偏ってつく。

生育を脅かす要因

県内での産地は現在 1 箇所のみで、山道の開発や樹木の伐採等。

参考文献 畔上能力ほか（2013）、前川文夫（1971）、大橋広好ほか（2015）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

ヒメヤマウズラ

Goodyera repens (L.) R.Br.
ラン科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で生育地、生育数ともに限られている。

分 布

国内分布は北海道～本州（中北部）に分布。県内分布は勝山市、大野市。

種の特徴

亜寒帯～冷温帯の林内に生える。茎は高さ 10～20 cm。葉は卵形で長さ 1～2.5 cm、幅 7～15 mm。茎の下部に集まって互生する。葉面には白色の斑紋がある。花は茎頂に穂状につき一方に偏る。苞は披針形、背萼片は長卵形、側萼片は斜卵形、側花弁は萼片より短い。

生育を脅かす要因

山道の開発等による、環境の変化等。

参考文献 大橋広好ほか（2015）、前川文夫（1971）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	